

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	糖尿病療養指導における援助的コミュニケーションの意味 ～「行動変容させる」から「苦しみを軽くする」視点へ～
当院の研究責任者(所属)	宮本晴江 (真生会富山病院 わかば病棟)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	生活改善が必要であり、高血糖状態が続く糖尿病患者に援助的コミュニケーションで対応したところ行動変容が起こった事例を体験した。なぜ行動変容が起こったのか、どのような心の動きがあったのか知ることで、今後の療養指導に活かしたいと感じたが糖尿病療養指導における会話記録での先行研究はまだない。そこで、この場面の会話記録を現象学視点から解明することで糖尿病療養指導における援助的コミュニケーションの意味を明らかにしたい。
調査データの該当期間	2018年1月～12月
研究の方法(対象となる方)	過去のカルテと会話記録を現象学的視点から振り返る、後ろ向き質的研究。
研究の方法(使用する情報)	患者情報(性別、年代、職業、糖尿病歴、現病歴、罹病歴) 検査データ(HbA1c、血糖値、腎機能、体重、BMI、尿検査値、眼底検査所見、神経障害所見) 会話記録
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	真生会富山病院0766-52-2156 担当者: 宮本晴江 (看護師、日本糖尿病療養指導士)
備考	